



顧客:

マエカワ、1924年に東京で設立され、産業用冷凍・冷蔵および空調設備向けの環境に優しい熱ソリューションを専門としている日本の多国籍企業。

課題:

ブラジルのサンパウロで、ビジネス複合施設内の研究所向けに持続可能な空調システムを提供するため、大容量のチラーを構築する。

ソリューション:

マエカワがSWEPとコラボレーションし、100 TR (冷凍トン) のプロパンチラーを設計および設置。

熱交換器:

ろう付け式プレート熱交換器のLシリーズから2つのSWEP DP300モデルを使用。

結果:

低GWPの自然冷媒を使用した持続可能で効率的な大容量冷却を実現しました。

マエカワとSWEP、持続可能な空調のために大容量プロパンチラーを製造

サステナブルな冷凍・冷蔵に注力する

マエカワは、冷凍・冷蔵およびHVAC分野における課題に対し、サステナブルで環境に優しいソリューションの提供に注力しています。同社の熱ソリューションは、すべてがアンモニア、二酸化炭素、水、炭化水素、空気といった自然冷媒をベースに構築されています。マエカワはこの取り組みを進めることで、サステナブルな開発をサポートすると同時に、オゾン層の破壊を減らし、地球温暖化を防止することに貢献しています。この点を踏まえ、同社はブラジルのサンパウロにある研究所に新しい空調システムを構築する依頼を受けた際、高いレベルのサステナブルかつ効率的な冷却を提供する容量100TRのプロパンチラーを設置することを選択しました。

SWEP BPHEの役割

SWEPのろう付け式プレート熱交換器は、マエカワのプロパンチラーに最適な蒸発器ソリューションを提供します。このプロジェクトでは、BPHEのLシリーズから、SWEP DP300モデルを2台採用しました。DP300は、非常に効果的で多用途なトゥルーデュアル蒸発器であり、チラー用途に最適です。特許取得済みのSWEP AsyMatrix™技術を搭載した蒸発器は、非対称チャンネル構造により、冷媒側での最大熱伝達と二次側での最小圧力損失を巧みに両立させています。

SWEPを選択した理由は？

SWEP BPHEは、従来の熱交換器と比較して、エネルギー効率が高く、構造材料をより有効に使用できるため、チラーや家庭用ガスボイラーなどの適切な用途で、よりサステナブルなソリューションになります。SWEPとマエカワは、いくつもの市場で、より効率的でサステナブルなソリューションを提供するという点で共通の理念を持ち、このプロジェクトに最適な組み合わせでした。

マエカワについての詳細

マエカワは日本の多国籍企業であり、産業用冷凍・冷蔵およびガス圧縮分野において約100年にわたる専門知識を有します。同社は1968年にブラジルで事業を開始して以来、世界規模で事業を拡大し、現在ではすべての大陸に拠点があり、ブラジル全土に15の支店を構えて迅速かつ高品質のサービスを提供しています。

安全性、品質、製品保全への取り組みを原動力に、マエカワは効率的で信頼性の高い技術ソリューションを顧客に提供しています。当社は常にイノベーションを追求し、エネルギー効率とサステナブルな開発の促進に重点を置いています。

マエカワについて詳しくはこちらをご覧ください：www.mayekawa.com.br

専門知識の共有

効率的な運転、高性能、少ない冷媒充填量、そして低GWPの自然冷媒に重点を置くマエカワのプロパンチラーは、サステナブルなビジネスモデルの構築とサポートに注力するあらゆる企業にとって理想的な選択肢となります。



SWEP DP300ろう付け式プレート熱交換器 (BPHE)。